

2026年7月3日

～従業員と地域社会の安全を守るために～

近江鉄道グループの管理職等 76 名が 「熱中症対策アンバサダー[®]」認定取得しました！

— 包括連携協定に基づき、熱中症対策を強化し健康経営を推進します —

近江鉄道株式会社（本社：滋賀県彦根市、代表取締役社長：藤井 高明）は、大塚製薬株式会社 京滋北陸支店（京都府京都市、支店長：上杉 真介、以下「大塚製薬」）と2025年11月1日に締結した「包括連携協定書」に基づく取組みの一環として、大塚製薬主催の「熱中症対策アンバサダー[®]」認定取得に取り組みました。従業員と地域の安全を守る熱中症対策を強化し、さらなる健康経営の推進を図ります。

近年、全国的に猛暑日が増加するなか、熱中症対策の重要性はますます高まっています。当社では、従業員やお客さまの安全確保および健康管理のさらなる強化を目的として、熱中症に関する正しい知識の習得と対策意識の向上を図ります。

当社は、従業員が心身ともに健康でいきいきと働き、それぞれの個性・能力を最大限に発揮することが、会社の持続的な発展につながるものと考えており、「健康経営優良法人 2026（大規模法人部門）」を4期連続で認定取得いたしました。今回の「熱中症対策アンバサダー[®]」認定取得の取組みは、こうした健康経営の一環として位置づけ、熱中症対策の実効性を高めてまいります。

認定取得後は、大塚製薬より提供される熱中症対策に関する啓発資料等を活用し、社内での注意喚起を行うとともに、お客さまに対しても熱中症対策への呼びかけを実施し、地域社会およびお客さまの安全・安心に寄与する取組みを推進してまいります。

「熱中症対策アンバサダー[®]」

認定証（イメージ）

【別紙】

「熱中症対策アンバサダー®」認定取得について

■熱中症対策アンバサダー®認定者

近江鉄道グループの管理職および所属長を中心とした社員 76 名

■熱中症対策アンバサダー®とは

大塚製薬主催の「熱中症対策アンバサダー®講座」を受講し、熱中症に関する基礎知識や対策方法等を学習のうえ、認定テストに合格すると「熱中症対策アンバサダー®」として認定される制度です。

■認定取得後の取り組み

- ・ 職場における熱中症対策の注意喚起
- ・ お客さまへの熱中症対策啓発
- ・ 大塚製薬との共同ポスターを各施設へ掲出



「ガチャコンまつり 2026 in 東近江市」での啓発の様子
(2026年6月27日開催)



大塚製薬との共同ポスター（イメージ）

<参考>

健康経営優良法人制度について



健康経営優良法人制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

当社グループの主な健康経営施策

- ・生活習慣病対策
- ・禁煙推進
- ・メンタルヘルス対策
- ・健康起因事故防止（SAS、脳ドッグなど）
- ・がん対策
- ・ウォーキングイベントの実施
- ・フリーアドレス導入（本社）

※上記のうち一部取り組みについては西武健康保険組合と連携して推進しています。

当社を含む西武グループでは、グループの経営理念である「グループビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に向け「サステナビリティアクション」に取り組んでいます。

今後も、西武グループのスローガンである「でかける人を、ほほえむ人へ。」と同時に、「はたらく人を、ほほえむ人へ。」の実現に向け、従業員の健康維持・増進に向けた取り組みを行い、心身ともに健康で働きやすい職場づくりを推進してまいります。

<参考>

●2025年11月10日リリース

「大塚製薬と近江鉄道が連携協定を締結しました」

<https://www.ohmitetudo.co.jp/file.jsp?id=17257>

●2026年3月10日リリース

「健康経営優良法人 2026（大規模法人部門）」の認定を取得」

<https://www.ohmitetudo.co.jp/file.jsp?id=18284>